

乳香の里から

オマーンのゾファール（Dhofar）地方は世界的に有名な乳香（英語で Frankincense、学名は *Boswellia sacra*）の高品質製品の産地です。現地では、乳香を生産している木を Magarah、まだ生産していない木を El teys と呼ぶ、と資料には書かれています。乳香の生産地は、イエメンとの国境周辺から東へ東西約 300km、南北 70km 程度の、海岸寄りに面した山の斜面地帯です。乳香は適度の湿度と石灰質の土壌でよく育つようですが、直接雨に当たるのは嫌いみたいで、霧や雲の中に入るような所で良い品質のものができるようです。乾燥している所では育ちません。乳香の木の高さは大きくても 3m 程度で、樹型はアカシア（*Acacia tortilis*）のように扇状になります。5～6 月頃が葉の出る時期です。葉は 5～10cm の

長さで、大根の葉っぱを病気で少しちぢらせたような形をしています。葉にもやや乳香の臭いがあります。

品質は場所によって異なるようで、以下のように 4 段階に分類されるとか（地域名は乳香の木の分布地域）。良い方から、

- 1) El Hojari : 東部地方、
- 2) El Najdi ; 北部及び中部山岳地帯、
- 3) El Shazri : 西部、降水地帯、
- 4) El Shabi : 海岸、谷間部。

一番目の El Hojari はサララ東の Sadah Mountain の Hojar 及び Samhan という所で多くの木を産し、良質の乳香が生産されている。

収穫は 4 月に行われ、一本の木にあちこちに切り口をつけ、そこからたれてきた樹脂を収穫する。収穫物は地域の町で売られる。以前は船で輸出されていたそうです。ここサララのスークでもおじいちゃん一人で座って売っているので、これが現地産だと思う。今度、言葉の分かる人を連れて、いろいろ聞けたらと思っている。



オマーン及びその周辺



乳香の木（*Boswellia sacra*）



Dhofar 地方の Qara 山地